

茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員会分科会について

【資料の説明】 「資料 3 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン最終評価（案）」の作成にあたり、分科会にて議論をしてきた経緯について報告するものです。

分科会メンバー：

野田 邦弘委員、山口 佳子委員、浅井 経子委員、清水 友美委員、大島 光春委員、加藤 幹雄委員

1. 令和元年度第 1 回 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員会分科会

日時：令和元年 12 月 23 日

議題：1 分科会長の選出について

2 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン最終評価について

内容：

○野田委員を分科会長に選出

○市民アンケート（案）について議論

⇒アンケート内容の見直し及びアンケート実施方法について確認。次回分科会で詳細を確定させることとした。

○茅ヶ崎市文化生涯学習プラン最終評価にあたっての論点整理

- 論点 1：文化生涯学習とは、市民の毎日のくらしや、全市全庁的な政策の共通基盤をなすものであるが、現プランは全市全庁的なプランとしての機能を果たすことができていたか。プランの推進を支える、庁内における役割分担、連携のためのミッションの共有化が不十分ではなかったか。
- 論点 2：講座等で、市民が学ぶ機会は多様で充実してきたと言える。しかしながら、生涯学習推進に係る役割・機能分担において、特に生涯学習行政（市長部局）と社会教育行政（教育委員会）の具体的な機能分担、市民や企業等の民間部門と行政の具体的な役割分担のビジョンが曖昧ではなかったか。
- 論点 3：文化行政の推進においては、新たな文化施設の展開や文化資源を知る機会の充実などが図られたが、プラン策定当初にイメージした、より多様な文化を継承し、創造につなげるダイナミックな事業がもっとできたのではないか。
- 論点 4：目標に対する指標設定は妥当であったか。評価をすること自体が目的化していなかったか。

⇒論点毎に最終評価に向けた課題や提言を議論。次回分科会で行動目標及び重点戦略事に課題及び提言を整理していくこととした。

⇒プラン期間中の主な取り組みを整理することとした。

2. 令和元年度第2回 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員会分科会

日時：令和2年1月21日

- 議題：1 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン最終評価について
2 次期文化生涯学習プランについて

内容：

- 分科会開始前に勉強会として分科会で使用する資料・市民との交流サロン・前回の議論を踏まえたアンケート内容について説明。
- 行動目標及び重点戦略について、課題及び提言を整理。
- 次期プラン策定に向けた交流サロンの進行等について確認。

3. 次期文化生涯学習プランについて考える交流サロン

日時：令和2年2月3日

参加者：21名（推進委員5名、職員8名、文教大学職員1名、市民講師1名、市民6名）

内容：ワークショップ形式で行動目標について意見交換

4. 令和元年度第3回 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員会分科会

日時：令和2年2月3日

- 議題：1 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン最終評価について
2 次期文化生涯学習プランについて

内容：

- 交流サロンの感想について議論
⇒交流サロンで出た意見を箇条書きでまとめることとした。
- 市民アンケート集計結果を説明
⇒茅ヶ崎市の人口分布・電子と紙の回答割合について追記することとした。
- 行動目標及び重点戦略について、前回の議論を踏まえた課題及び提言の整理。目標の達成状況等について整理。
- 次期プランの目標について考え方を整理
⇒次回分科会に向けて、具体的な目標を委員が案として作成してくることとした。

5. 令和元年度第4回 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員会分科会

日時：令和2年2月25日

- 議題：1 茅ヶ崎市文化生涯学習プラン最終評価について
2 次期茅ヶ崎市文化生涯学習プランについて

内容：

- 最終評価に記載する事項・最終評価の考え方等を整理
⇒次回推進委員会の際に、分科会の議論を踏まえた最終評価の案を提示することとした。
- 本プランと関連が深い総合計画・教育基本計画・都市マスタープランの概要について説明
- 次期プランの構成（案）・委員からの目標（案）について議論

総括

分科会の開催及び交流サロンの実施により、推進委員会で最終評価（案）を提案するレベルまで議論を深めることができた。分科会を通して作成した最終評価案を次期推進委員会へ提示することとした。

一方次期プランの策定については、骨子案及び目標の案を検討していく必要があるため令和2年度についても引き続き分科会を開催することを検討しています。